

「向学の熱」

令和6年度 竜北中学校 学校便り 第7号

文責 校長 高橋 博之

学校ホームページ <https://jh.higo.ed.jp/ryuhoku/>

第5回「CSの日:オータム交電会」～中学校区拡大大学校運営協議会の取組～

11月2日(土)に、今年度が5回目となる「オータム交電会」が行われました。この取組は令和2年度から始まっており、「15の春を輝かせるために」を竜北中学校区の活動テーマとし、中学校区拡大大学校運営協議会(竜北中・西部小・東小の3校の代表からなる学校運営協議会 以下:拡大CS)が主体となり行っているものです。

今年度の氷川町全体のCSのテーマが「ふるさを見つめ、みんなの夢と笑顔を育むコミュニティ・スクールをめざして」であることを受け、拡大CSではこれまで行ってきた「氷川町の魅力・良さ」について中学生が小学生に伝える活動に今年度も取り組むことにしました。中学生は、氷川町の魅力や良さについて自分たちでテーマを設定し、実際に現地を訪れて学習したり、関係者へのインタビュー等を行ったりしてまとめます。そして、その調べた内容を小学生に伝える活動を通して、「ふるさとの魅力を再発見し、今後の進路選択に夢と誇りを持って取り組む」ことにつながっていきます。小学生にとっては、中学生の発表を聞くことで「氷川町の魅力や良さ」に気付くことはもちろん、「中学生はすごいな」「私たちも中学生になったら、小学生に伝えてあげたい」といった“あこがれの気持ち”をもって欲しいというねらいがあります。

今年も本校の生徒達は「氷川町の魅力や良さ」について、スライド資料や3Dの動画、自作の紙芝居やおもちゃ等を使ってわかりやすく説明したり、説明の内容をクイズ形式で振り返ったりと、小学生と会話をやりとりしながら、堂々と活動していました。中学生からは、「これまで寝ても覚めてもCSの日のことが頭から離れませんでした」「CSの日の前夜まで、スライド資料を修正しました」などの声があり、やり遂げた後の充実感や達成感を感じました。また、CS委員さんからは、「中学生の成長が見られ、ねらいを十分に達成できた」「古墳の内部をタブレットで立体的にみせるなどあり、中学生の頑張りに感動した」といったうれしい声も聞かれました。



ロボコン大会で九州大会出場!



侯崎先生と作戦会議中の飛脚チーム

11月9日に、熊本高専熊本キャンパスにて、「創造アイデアロボットコンテスト熊本県大会」が行われ、竜北中学校から2年生“飛脚チーム”と“オスカルチーム”が出場しました。予選は接戦となりましたが、飛脚チームが見事に決勝トーナメントに駒を進め、「九州オリジナル部門」で3位を勝ち取り、九州大会への切符を手に入れました。

2年生は2学期になって技術科の授業で、機械の制御について学習しており、その一貫として参加者を募って放課後にロボットの作成や練習に取り組みました。九州大会は12月14日・15日に、益城町の総合体育館で行われます。“飛脚”の健闘を祈ります!

「夢を掴め竜中生!」

[日 時] 令和6年12月13日(金) 15時～
[講 師] KCアカデミー代表 近藤 義男 様
[場 所] 竜北中 体育館
[参加者] 全校生徒・保護者・職員

上記の日時で開催される「竜北中PTA親子講演会」に今年のパリーグの首位打者で昨年のWBCでも活躍した『福岡ソフトバンクホークス 近藤健介 選手』の父親である 近藤義男 様 を講師としてお招きし、話をさせていただくことになりました。

日本を代表する野球選手を育てられた経験から、「夢を掴む」ためにどんな思考が必要か、どんな取組が有効か等、有意義な話が聞けるのではないかと思います。多くの方の参加をお待ちしています!

※当日は授業参観・学年(学級)懇談会も実施されます。